

いのち輝く未来社会のデザイン

2025年 大阪万博 「テーマ」

2017年(平成29年)3月28日(火曜日)

新聞 産経 読

日刊工業新聞

2017年(平成29年)3月28日・火曜日

新聞 明新 聞

2017年(平成29年)3月28日(火曜日)

未来社会を描く場に

万博誘致委設立

人気お笑いコンビ、ダウンタウンもアンバサダー(大使)として機運盛り上げに一役



大阪府などが誘致を目指す2025年の国際博覧会(万博)誘致委員会の設立総会が27日、都内で開催された。誘致委員長を務める経団連の榊原定征会長は冒頭あいさつで、第4次産業革命「ソサエティー5.0」に言及し、「持続可能な経済社会システムを世界に提示し、世界が直面する課題を克服した未来社会を描く場、ソリューションを発信する場としたい」と意欲を示した。

日本は閣議了解を経て、博覧会国際事務局(BIE、本部＝パリ)に5月下旬までに登録を申請。18年11月のBIE総会で開催地が決定する見通しだ。当面の誘致活動としては、17年6月に開催されるBIE総会で、関西地域の魅力や優位性を加盟国にアピールすることとなる。



大阪万博へ誘致委発足

2025年国際博覧会(万博)の大阪誘致に向け、官民共同の誘致委員会が27日、東京都内の経団連会館で設立総会を開いた。トップに就任した榊原定征経団連会長は席上、「手を挙げるからには誘致レースに勝利する。オールジャパンで活動し必ず諸外国の日本支持を取り付けたい」と話と激励した。

設立総会後に開かれた式典では、誘致活動のアンバサダーとしてお笑いコンビ「ダウンタウン」の2人も出席【写真】。1970年の大阪万博を見に行ったという浜田雅功さんは「55年ぶりに大阪で万博をやって日本中を盛り上げてほしい」と激励した。

大阪万博誘致委が発足

来秋の開催地決定へ活動



2025年の国際博覧会(万博)の大阪誘致を目指す官民の誘致委員会が27日、東京都内で設立総会を開いた。トップの会長には経団連の榊原定征会長が正式に就任し、会長代行に大阪府の松井一郎知事と関西経済連合会の森詳介会長を指名した。18年秋の開催地

決定に向け、国内機運の醸成や海外へのプロモーション活動を本格化させる。設立総会では、6月にパリで開かれる博覧会国際事務局(BIE)総会に代表者を派遣することやプロモーション動画の製作、ロゴマークの公募など当面の活動内容を決定。大阪と東京にそれぞれ事務局を置く。

誘致委の副会長には吉村洋文大阪市長、大阪商工会議所の尾崎裕会頭、関西経済同友会の蔭山秀一代表幹事ら7人が就任。委員には、アシックスやパナソニックなど関西の主要企業を中心とする40社の幹部らが就き、誘致委運営を支援する。開催地は、BIEに加盟する約170か国の投票で決まる。榊原氏は設立総会で「必ず大阪・関西の万博を勝ち取らなければならない。オールジャパンで誘致を進めることが不可欠だ」と述べた。

誘致委は開催機運を高めるため、元阪神タイガース選手で野球解説者の赤星憲広さんら著名人27人に個人会員としてPR役を担ってもらった。設立総会に続く発足式では、応援大使として兵庫県尼崎市出身のお笑いコンビ・ダウンタウンの浜田雅功さんと松本人志さんが駆けつけた。政府は4月に立候補を閣議了解し、BIEに申請する方針だ。